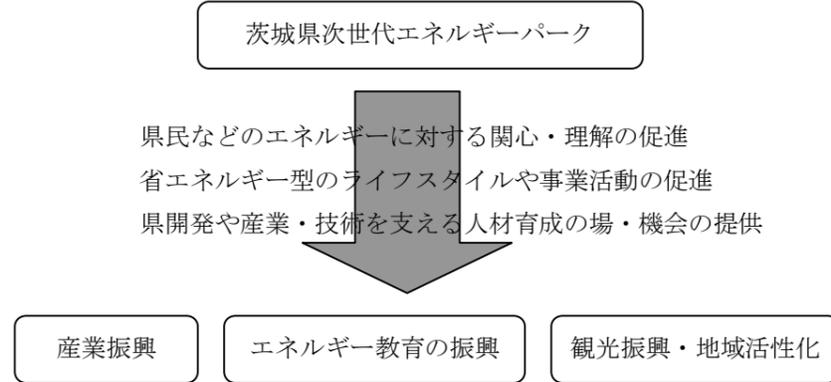


茨城県次世代エネルギーパーク構想（概要）

1 目的

持続可能なエネルギーシステムの実現を目指し、県民等のエネルギーに対する関心・理解を広げ、省エネルギー型のライフスタイルや事業活動の実践を導くとともに、次世代エネルギーに係る研究開発や産業・技術を支える人材育成の場・機会を提供することを目的とする。

●エネルギーパーク整備構想の目的



2 ターゲット

子ども、若者、勤労世代、中高年、家族、近隣都県や海外からの来訪者を想定。
（小中学校における教育や企業研修、生涯学習等で取り入れられるよう工夫する。）

3 エネルギーパーク整備による効果

視 点	効 果
エネルギー教育の振興	・ 子どもたちの次世代エネルギー・新エネルギー・原子力等に対する興味が深まる
県民等のエネルギーに対する関心・理解の促進	・ 各世代において次世代エネルギー・新エネルギー・原子力等の可能性や必要性についての理解が深まる
観光振興・地域活性化	・ 周辺観光施設との相乗効果、エコツアーや産業観光の振興により観光客が増加する
産業振興	・ 産学官連携事業により、研究機関等による研究成果の産業利用を促進する ・ パーク内への新エネルギー関連企業・研究施設の誘致を促進するとともに新エネベンチャーの起業を支援する
研究開発や産業・技術を支える人材育成の場・機会の提供	・ 研究施設等の専門技術者が活躍する場を提供できる ・ 地域や家庭、事業者等に対するアドバイス等を行う、新エネコーディネーターが育成される

4 運営方針

エネルギーパークの見学施設やコース等の紹介、利用相談受付、広報等のパーク全体運営を一元的に行うセンター機能を整備する。このセンターは、エネルギーパークの総合案内を行うコントロールタワーであるとともに、将来的には人材育成や産業活用機能の実現を目指す。

5 全体イメージ

茨城県次世代エネルギーパークは既存施設が集積する3地区を連携させたネットワーク型とする。また、各地区を一体的に見学していただくために、エネルギーパークの見学施設やコース等の紹介、利用相談受付、広報等のパーク全体運営を一元的に行うセンター機能を推進協議会が中心となって整備する。このセンターは、エネルギーパークの総合案内を行うコントロールタワーの役割を担う。

茨城県次世代エネルギーパークの全体イメージ

